



小学校
春季大運動会



農 懇談会「村の達人に学ぶ」
産物の生産向上を目指して…

小林農事組合（馬場敏行組合長）では、5月15日に小林公民館で集落の方を対象に「村の達人に学ぶ」と名付けた懇談会を開きました。この会は野菜など農産物の生産性の向上を図ることや農村生活の豊かさを実感するため行われ、約30名が参加しました。この日は、野菜づくりに熟練された小林地区の5人の方々が、ネギや人参、サツマイモなどの栽培方法のコツを話され、参加者はメモを取ったり質問したりと活発な懇談会となりました。この会は今回で2回目。



▲熱心に熟練者の説明を聞く参加者

最 要害山の山開き
高の青空に新緑と残雪



▲山頂での大パノラマに感動する登山客

只見町観光まちづくり協会が主催する「要害山の山開き」が5月13日に開かれ、約70名が参加、登山者のなかには東京から訪れた人も見られました。要害山は生息する草花の種類が多く、この日はシャクナゲやイワカガミ、ユキツバキなどが見ごろで、参加者をやさしく出迎えていました。さらに、晴天に恵まれ山頂からは新緑と残雪のコントラストが鮮やかな、会津朝日岳や浅草岳も望め、要害山の魅力が満喫できた山開きとなりました。

鬼 地域活性化伝道師「藤田 勲」氏 に金棒人形を寄贈

一般財団法人・神城文化の森・藤田財団（熊本県錦町）理事長の藤田勲氏が4月26日に役場本庁を訪れ、藤田財団ブランドの「鬼に金棒人形」を寄贈されました。この活動は、がんばろう！日本・鬼復興祈念プロジェクト事業の一環で行われ、同プロジェクト実行委員会委員長の藤田氏が、昨年発生した大震災や豪雨災害などで被災した地域を訪れ、一日も早い復興を祈念し、鬼の人形を手渡されているもので、町内の保育所と小学校へも届けられました。



▲人形を寄贈された藤田氏（中央）と目黒町長（右）と久保副町長

春 只見町民ハイキング のフレッシュな空気を深呼吸

穏やかに晴れた春空のもと、5月13日に、第23回只見町民ハイキングが只見ダム周辺で行われ、約180名が参加しました。春のさわやかな風が新緑の木々を揺らすなか、思い思いのペースで歩き回りの景色を楽しみました。ゴールした参加者はトン汁のサービスで疲れを癒し、青少年旅行村いこいの森で行われた、ハズレなしの大抽選会で楽しく盛り上がり、春の一日を有意義に過ごしました。



▲楽しく健康づくりができた参加者

豪 株式会社高島屋柏店 雨災害からの復興を応援



▲目録を手にする目黒町長（右）と村田善郎高島屋柏店長

ふるさと交流都市の千葉県柏市にある高島屋柏店から、豪雨災害の復興に役立ててほしいと103,000円が寄付されました。寄付金は5月7日に村田善郎高島屋柏店長から目黒町長に手渡されました。これは、同高島屋が千葉大学で生産された生花をチャリティ販売された売上からの寄付で、高島屋ステーションモール開業20周年特別事業の一環で行われました。皆様からの温かい応援、本当にありがとうございました。

新 バード・ウォッチング 緑が心地いい林の中で…



▲小鳥の鳴き声が響くなかポイントを探す参加者

さわやかな春の日差しが新緑をまぶしく照らした5月20日、寄岩地内の大畑沢林道を歩きながらの春鳥観察が行われました。只見の自然に学ぶ会の皆さんを講師に、早朝の新鮮な空気につつまれた林のなかで、15人の参加者は、双眼鏡をのぞき、耳を澄ませて、かわいい鳥たちのしぐさや美しい鳴き声を楽しみました。この日はノジコやサシバなどが確認できたり、所々でウグイスやオオルリなどのさえずりも聞こえ、18種類の野鳥を観察しました。